

テーマ 『つながり・協働』する社会教育の再構築 ～多様化・複雑化する地域課題の解決にむけて～

第38回の「中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」を開催することになりました。今年も各県の28の実践事例を推薦いただき、実行委員・大会事務局・当大会ご参加の皆様方に心から感謝申し上げます。

近年、地域(まち)をブラブラしながら取材し、レポート発信しています。そこには、地域から見る重要な気付きがあります。それは地域が、人口減少、少子高齢化、さらには、限界・消滅集落、学校の統廃合・廃校、空き家、買い物難民等々多くの課題に直面していることです。

一方、内閣府等では、人生100年時代の到来、Society5.0(狩猟・農耕・工業・情報・人間中心社会)実現等が提唱されています。今後の『未来の必要』を目指すには、一つには、持続可能な社会づくり(SDGs)を進めるため、地域住民自らが地域運営に主体的に関わる組織づくりが重要です。二つには、住民自ら必要な事を学び・向上し、その成果を地域づくり等に活用する人材育成等が求められます。具体的にどうするかが喫緊の課題です。

このような中、昨年(平成30年)12月21日、中央教育審議会から「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」(答申)が出されました。平成が終わる年に「平成最後の答申」が出されたのです。ここでは、「地域における社会教育の目指すもの」として「『社会教育』を基盤とした、ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」としています。さらに、「新たな社会教育の方向性」として「開かれ、つながる社会教育の実現」を掲げ「住民の主体的な参加のためのきっかけづくり」「ネットワーク型行政の実質化」「地域の学びと活動を活性化させる人材育成の活躍」等を提言しています。まさに、従来から社会教育が目指してきた事であり、当「実践研究交流会」の存在意義があります。

第38回大会も、28の実践事例発表とともに、恒例の「特別報告『グローバル時代の日本文化再考』」や「特別企画『高齢社会の放送大学』」、「『学習療法』で認知症高齢者の脳機能活性化に挑む」も、まさに、我が国の抱える重要課題です。ご期待ください。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也

5/17 (金)

情報交換会 19:00～

前日から宿泊されている方々と各県の実行委員会の皆さんとの情報交換会の場を設けました。一緒に食事をとりながら、心ゆくまで、ゆっくりと御歓談ください。

5/18 (土)

開会式 10:15～10:45 2F講堂

午前 実践発表① 10:45～12:30

2階 第1会場
4階 研修室

- 開成中学星サンタ ～中学生の地域交流の創出～ 宮田 朋美(佐賀県佐賀市)
- 高校生が本気で動き出す ～高校生×宮崎のかっこいい大人～ 猪俣 志保・川内 健二・桑畑 夏生(宮崎県宮崎市)
- 未来を織りなす人づくり ～西郷どんの里「龍郷町」、地域ぐるみ青少年事業の特色～ 重田 美咲(鹿児島県龍郷町)

2階 自由研修室

- 廃校舎活用の新たな試み ～限界集落の負けない底力～ 上村 博雅・篠田 三宜・田中 時子(山口県岩国市)
- 歌とダンスで村の魅力を発信! ～ほせえ村からこんにちは、元気もりもり日吉津村～ 井田 博之(鳥取県日吉津村)
- 小学校留守家庭子ども会での活動 大浦 多一郎(福岡県福岡市)

4階 視聴覚室

- 今、求められる公民館活動 ～『サテライト菊池教室』からの学び～ 山本 美千代(熊本県菊池市)
- 学校との連携・協働した公民館事業 花田 健司(福岡県福岡市)
- 公民館活動における協働の仕組みづくり ～子どもを育てる公民館と学校の協働～ 赤峯 友子(大分県大分市)

4階 大研修室

- おもちゃ病院活動の生涯学習への貢献 波多江 保彦(福岡県糸島市)
- おいでよ～「なぎさ未来塾・ひまわりハウス『わいわい食堂』」 追鳥 嘉正・吉村 哲朗(鹿児島県始良市)
- 女子目線でのマチナカ再発見 ～女子部流楽しさの仕掛けとその先～ 阿部 美和子(長崎県長崎市)

ふるさと自慢ポスター展

あなたのまちの「村おこし」や「まちづくり」また、「ひとづくり」などのイベントポスターやチラシで、あなたの故郷自慢を広く全国にアピールしませんか?

- 参加資格 誰でも出品できます。
- 出品数 1イベント1点
- 提出方法 大会当日受付にお申し出ください。
- 留意事項 ポスター・チラシに限ります。展示品は返却できませんので予め御了承ください。

午後 実践発表② 13:30～16:10

2階 第1会場
4階 研修室

- 霧島おむすび自然学校 壺岐 博彦(宮崎県小林市)
- 高校生による地元再発見 ～「民家の甲子園」愛媛県大会がもたらす効果～ 處 淳子(愛媛県西条市)
- 「勝央町カタルバ講座」の実践・手法 ～中高生が地域で輝く出番づくり～ 三戸 祥恵(岡山県勝央町)
- 舞台体験を通じた子どもたちの居場所づくり・地域づくりの実践 ～子どもも大人もつながる新たなコミュニティの構築～ 田中 晶子(大阪府狭山市)

2階 自由研修室

- 「ながとジュニアリーダーズクラブ」の組織と連携活動の実践 久保田 啓子(山口県長門市)
- 三方良しの「新・職場体験」 田原 俊輔・豊田 浩司(島根県益田市)
- キャリア教育『夢授業』 木原 大助(福岡県北九州市)
- 子どもたちが「楽しく学べる出前講座」への思いと活動 高橋 昌美(高知県高知市)

4階 視聴覚室

- ハツチョウトンボを通じた地域ぐるみのESD学習 岡本 修治(島根県浜田市)
- 「親孝行の里」・南島原市加津佐町の ～地域の源泉・「津波見名(つばみみょう)振興協議会」～ 山下 信二(長崎県南島原市)
- 「このまちに暮らしたいプロジェクト」の運営と手法 為政 久雄(広島県広島市)
- 「いづか市民マナビネットワーク」の取組 村岡 剛(福岡県飯塚市)

4階 大研修室

- 地域活性化に導入した「リードフォーアクション」の仕組みと手法 ～仲間と一緒に読書・対話・課題発見・解決～ 観元 真人(徳島県徳島市)
- 地域みんなで防災アクティブラーニング ～熊本地震の経験から学ぶ～ 徳永 伸介(熊本県 広域)
- 「勝連城」復活プロジェクト 牧 門司・與那嶺 忠(沖縄県うるま市)
- まちづくりは〇〇〇! ～生き残りをかけたコミュニティの幕開け～ 橋崎 和弘(鳥取県鳥取市)

特別報告 16:30～17:00 2F講堂

「グローバル時代の日本文化再考」～文化がつくりだす「国柄」と「副作用」～ 報告者 三浦 清一郎

第38回大会交流会 17:30～20:00 2F体育館

事例の発表者の方々や参加者の皆さん、各県の実行委員会の皆さんが一堂に会して、交流を深める場を設けています。それぞれの実践について語り合いませんか?ココでも探したい実践のヒントが見つかります。多数の参加をお待ちしております。

5/19 (日)

特別企画「超高齢社会の『未来の必要』」 9:00～11:30 2F講堂

下記登壇者等の役職名は、2019年3月現在のものです。

第1部 「高齢社会の放送大学」～その使命と活用の可能性～

登壇者：菊川 律子 氏 (中央教育審議会委員
放送大学特任教授・福岡学習センター所長)
西之原 鉄也 氏 (放送大学大学院修了者 元北九州市若松区長)
聞き手：古市 勝也 (九州共立大学名誉教授)
大島 まな (九州女子大学教授)

第2部 「『学習療法』で認知症高齢者の脳機能活性化に挑む」

登壇者：山崎 律美 氏 (介護老人福祉施設 永寿園 園長：福岡県大川市)
聞き手：三浦 清一郎 (月刊生涯学習通信『風の便り』編集長)
森本 精造 (元飯塚市教育委員会教育長
飯塚市青少年教育施設 サンビレッジ 理事長)

総括閉会式 11:30～12:00 2F講堂

「おらがまちの名物自慢」

あなたのまちの名物は何ですか?
地酒・焼酎・つけもの・海産物……。
毎回、参加者がお国自慢の品々を持ち寄り、
その数なんと、約100種!

「オークション」での競売でもよし、「交流会2次会」での酒肴でもよし。
御持参くださる方は、大会当日、専用受付にて、
所属・氏名・物産品の品名・セールスポイントを
御記入いただき、お預けください。

